

報 会 窓 同 高 花



第101号

発行：平成23年3月1日

秋田県立花輪高等学校
同窓会事務局



「八田與一」

同窓会長 三ヶ田 正彦

日本敗戦後、台湾に中国国民党がやってくると、六十万人の日本人は追放され、樺山資紀、児玉源太郎、後藤新平等台湾の近代化に功績のあった日本人の銅像はすべて壊され、代わりに四万三〇〇〇体の蒋介石の銅像が建てられた（黄文雄著台湾は日本人がつくった、参照）。しかし、再

建された日本人銅像もある。それは台湾中南部、烏山頭の嘉南大圳の一角にある、土木技師八田與一の銅像である。八田は日本の統治下にあった台湾で、烏山頭にダムを建設し、ほとんど不毛の地と言われて良かった嘉南平野に灌漑水路を造り灌漑面積四六万三七〇三ヘクタール、嘉南平野を大穀倉地帯に変え、台湾の農業を飛躍的に発展させ、九万人の住人に恩恵をもたらした。このような灌漑水利工事は日本国内でも例がなく、完成したときにはアメリカの土木学会でも「八田ダム」と命名され、世界をあとと言わせた。日本の技術の高さを世界に示した事業であった。

八田は明治一九年金沢市の農家に生まれた。東京帝大工科大学土木科を卒業、台湾総督府土木局に配属され、大正十三年二八才で技師となる。桃園大圳を建設中八田は上司に呼ばれダム建設の調査を命じられる。八田の提出した烏山頭ダムを含む嘉南平野灌漑計画は、関係者を驚かせた。八田の計画があまりに壮大なものであったためである。こ

れだけのダムを持つ国は東洋に一国もなく、その規模の大きさは誰の予想も超えたものであった。これ程大規模な建設工事が出来るのか。激論の末、台湾総督府下村総務長官は、八田の計画通り実施するとの決断を下す。

昭和五年（一九三〇年）着工から一〇年、試練の後にダムは完成した。ダムの堰堤は長さ一二七三メートル、底部の幅三〇メートル、頭頂部九メートル、高さ五七メートルで、水路は一万六〇〇〇キロ水路の長さは戦後つくられた日本最大の愛知用水の十三倍万里の長城の六倍になる。

昭和一七年五月五日、八田は広島県宇部港から大洋丸に乗ってフィリピンに向かった。五島列島の南を航海中、アメリカの潜水艦の魚雷攻撃に遭い大洋丸は撃沈、八田は、海の藻くずとなった。享年五六才である。日本の敗戦が決まると、八田の妻外代樹（とよき）は、烏山頭ダムの放水口に身を投じ、四五才の命を閉じた。八田夫妻のお墓は、嘉南の人々が建てた八田與一の銅像の直ぐ側にある。近年金沢市に「八田與一の会」が結成され、嘉南大圳の関係者と交流し親睦を深めていると聞く。嘉南の人達は、決して、八田與一を忘れないのである。

同窓会入会を歓迎します

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございました。皆さんが同窓会に入会されることを心から歓迎いたします。同窓会は次のような目的を持って運営されています。

- ① 会員相互の教養を高め親睦を図る
- ② 母校の発展に寄与する

今、同窓会では活動を活性化して母校の支援をより充実したものにすため三年計画を作っています。以下にその計画を紹介します。

- 1年目・・・「活性化の準備」
- ① 同窓会事務局の開設
- ② 総会・懇親会の活性化を検討
- 2年目・・・「広報活動の充実」、「総会の運営方法の改善」
- ① 広報活動の充実：会報の充実、HPの開設
- ② 総会運営方法の改善

- ③ 学年幹事が総会運営担当
- 3年目以降・・・「組織作りと同窓会活動の本格的始動」
- ① 組織作り・・・委員会の設置
- ② 財政の改善・支援活動の充実
- ③ 会員相互のつながり深める

春には毎年同窓会総会が行われております。是非沢山の方に出席いただき同窓生の絆を深めて欲しいものです。また、HPを立ち上げ全国の同窓生に母校や同窓生の情報を発信していきたいと思っています。HP作成に関心のある方積極的に参加して下さい。先輩後輩が一堂に会して多くの人が集まる楽しい同窓会にしていきたいと思っています。皆さんの参加をお待ちしています。

全国高等学校女子駅伝大会について



花輪高等学校陸上競技部女子長距離

2年 佐藤 千尋

「駅伝全国大会を応援して」

花輪高校同窓会関西支部長

坂本 信雄（1963卒業）

同窓生からの声援

駅伝について多くの同窓生から喜びの声が届いています。

・花輪高校の活躍嬉しかった。（女学校14期岸和田市）

・渋谷里瑞沙さんが活躍して格好よかった、見ていて気持ちよかったです。（女学校14期N・いさん）

・高校駅伝の応援に行ってきました。前日は宿舎で励会でした。今まで一番素晴らしい成績を修めましたね。花輪高校素晴らしいです。（富田林市S・Tさん）

・全国高校駅伝頑張りましたね（日高市K・Kさん）

・母校渋谷選手の疾走をテレビで見ながら大声出して応援しました。（東京M・Oさん）

・最近のせいか花輪高校の活躍がとても嬉しく感じます。選手の皆さん有難う。（仙台市T・Oさん）

・県記録を更新する活躍は凄いです。感動有難う。（鹿角市K・Kさん）

・謹んで新年の挨拶を申し上げます。花輪高校の活躍を拝見し、大変うれしく感じています。また、今年も是非、京都に生徒たちが来ることを期待しております。なお、私自身はまだ大学に（京都学園大学教授）身をおいておりますので、とりわけ母校の生徒に限りませんが、応援をしてやまない一人です。

昨年私たち花輪高等学校女子駅伝チームは、秋田県大会で優勝し全国大会に出場しました。しかし、12月26日に行われた全国大会に、私はメンバーにもはいることができませんでした。

あこがれだった都大路を走ることとはできなかったのですが、選手のサポートや応援で中継所について、他校の強い選手を多く見ることができたのは大きな体験だったと思います。そして、改めて「自分もこの場所を走りた」と思いました。

今年度の花輪高等学校女子長距離は、力のある1年生が多く入部してきました。また、3年生もキャプテンの渋谷璃沙さんを始めとして、力のある先輩が多い学年でした。この3年生だからこそ、私たち、1、2年生がついて行きたいと思って努力しました。そのことが、女子長距離18人全員で全国大会20位という結果になって現れたのだと思います。

3年生の先輩の皆さんが引退し、自分たち2年生がチームを引っ張っていく立場になりました。こうした立場になって、チームをまとめることの難しさを



感じています。まだまだ渋谷先輩のようにまとめることはできませんが、これから多くのことを学び、新チームをさらに強いチームにしていけるように努力していきたいと思っています。そして、今年も絶対に全国大会に出場し、今度こそ10番台の順位になることを目標にします。この目標を達成するために、駅伝チームが丸となって、日々の練習をがんばっていききたいと思

京都も冬場は観光シーズンオフですが、この冬を盛り上げていくのが12月末の高校駅伝、そして1月の全国都道府県対抗女子駅伝です。そのいずれにも花輪高校女子チームが大活躍したことは、地元同窓会関係者一同、とても誇りに思っています。とりわけ高校女子駅伝では何と言ってもかかってない20位の大躍進に感激しました。

高校駅伝では大会前日の激励会に近畿同窓会の5名がかけつけました。そして大会当日の朝は雪がちらつく空模様でしたが、しだいに好天にむかって選手達の力走が目立ちました。私自身は京都御所に近い喫茶店で初めTV観戦からスタートしました。1区を力走する渋谷璃沙選手が予想外の活躍をするので、見ている私たちもワクワクドキドキの気分でしたが、それを伝えるNHKアナウンサーが必要なので、データなどを探すのに慌てふためいた様子でした。その後、5区（西大路下立売周辺）に移動し、

石坂萌選手の頑張りを確認して、いよいよ20位の大躍進を確信しました。

全国都道府県対抗女子駅伝になると、地元紙の京都新聞は渋谷選手や主将の鈴木絵里選手（2006年卒）などを事前に紹介する記事が掲載されるなど、花輪高校の文字がかつての大会よりも格段に増えました。写真は、全国都道府県対抗女子駅伝の競技が終わって、慰労会（京都秋田県人会主催）での花輪高校関係者一同です。選手のほかに先輩、先生を含めての写真ですが、今や花輪高校関係者が一大勢力になっている様子が伺えることでしょう。

関西同窓会といっても年1回程度の会合に出席される方は10名から多くて15名位です。小規模世帯でもって精一杯の応援をモットーにしておりますので、今年も是非、京都に生徒たちが来ることを期待しております。

なお、私自身はまだ大学に（京都学園大学教授）身をおいておりますので、とりわけ母校の生徒に限りませんが、応援をしてやまない一人です。





花高時代の思い出

旧職員 清野宏隆

私が花輪高校に赴任したのは昭和38年4月である。当時、校舎の主要部は高等女学校時代のもので、正面玄関の上のバルコニーが素敵だった。昭和49年3月まで11年間お世話になった。私の担当教科は社会科である。担当は主に世界史であった。当時は好きな教科(得意教科目)を徹底的に勉強する生徒がいて、全国模試で世界史の上位に食い込む者もいた。それは、教える者に励みになった。今はバランスを考えて勉強するのが普通で、このような個性的な生徒は現れないようだ。

生徒会係として生徒と先生の話し合いの会を何度も開いたことを記憶している。部活動の担当は最初が男子バレーボール。野球、ソフトテニスと短期に変わった。バレーコートはグラウンドの中にあつた。野球は尾去沢の春木沢の原っぱで練習した。学校から坂道を30分ほどかかったから大変であつた。鉱山会社の野球場を使うため、近くの寺に合宿して朝の4時から7時まで練習して登校したこともあつた。

44年に明堂長根に新校舎が移転し、施設・設備が一新すると、部活動は新しい時代を迎えることになった。その活動については、地域の皆様がよくご存じだと思ふ。私が希望して部長となつた男子テニス部も45年に全県総体で準優勝し、47年に個人で念願のインターハイに出場した。学級担任として三度卒業生を見送つた。この時期は生徒数が急増し、42年に学級が7学級、生徒数が1,000名を超えた。私が担任にした41年3月卒の学級生徒数は52名であつた。就

職は概ね好調であつた。一方で、大学進学者が増加し、受験体制も整えられていった。47年卒の生徒が京都大学に現役合格し喜びにわいたことをよく覚えてい

る。花輪高校は部活を中心に素晴らしい活躍をしている。能力を引き出し、個性をよく伸ばす力は抜群である。生徒の自主性や向上心には目を見張るものがある。そこには、学校始まって以来の先輩達の努力の跡を感じる。花高生には、目的を持ち、勉強や運動に自分の能力を信じて日々努力していただきたい。私は花高出身の妻と花輪には今でもよく行っている。

清野宏隆先生は、以前花輪高校に勤務されていました。先生は、花輪高校が初任でしたが、情熱的で熱心な授業を繰り広げると同時にテニス部の指導も一生懸命で、生徒からの信頼の太変厚い先生でした。

その後、県教育委員会指導主事、大館高校と能代高校の校長を勤められ、旺盛な研究意欲と適切な指導法で、本県の高校教育の振興発展に大いに寄与され、昨年秋の叙勲で「瑞宝小授章」を受章されました。

同窓会支部・役員一覧

花栄会(東京)

会長：佐藤 久志
幹事長：石井 政光

近畿支部

会長：坂本 信雄
幹事長：徳永 幸子

宮城支部

会長：塚田 昭彦
事務局長：阿部 研一

岩手支部

会長：奈良 憲光
事務局長：関 直

秋田支部

会長：橋野 清蔵
事務局長：木村 秀三

学年幹事から一言

第63期 平成22年度卒業



卒業後もみんなで頻繁に集まって盛り上げられるように頑張りたいです。

阿部 寿秀(3C)



何年かに一度でもいいので、みんなで集まれるようにしたいです。よろしくお願ひします

櫻田 和也(3A)



節目の年などにより再会ができるように精一杯幹事を務めたいと思います。

阿部 美穂(3C)



同窓会は、卒業後、クラスのみならず交流できる唯一の場なので楽しいものとなるようにしたいです。

刈谷 唯那(3A)



思い出に残るような同窓会をしたいです。

田中 聡益(3C)



みんな毎年1回は集まる事が出来るよう努力したい。

戸田 亮太(3B)



毎年集まってやりたいです。

阿部 健太(3D)



毎年2回は集まって、クラス全員41人で楽しくワイワイ近況報告などしたいと思います。

三浦 理沙(3B)



全員に楽しんでもらえるような同窓会を開けるよう頑張りたいと思います。

加賀 紗由里(3D)

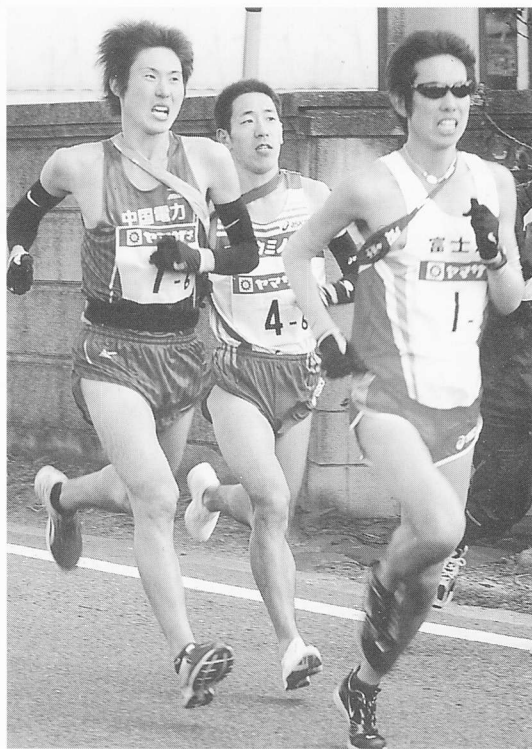
先輩インタビュー

コニカミノルタの陸上部に所属し活躍中の松宮隆行さんにインタビューしました。

松宮さんは日本陸上選手権大会男子5,000mおよび10,000mで3年連続2種目制覇、男子長距離トラックのチャンピオンとなり2008年北京オリンピック男子長距離トラック日本代表です。

—— 現在持っている日本記録を教えてください。

5,000mで13分13秒20とロード30kmの1時間28分00秒の二つです。



—— 今までで最も印象に残った大会は？その理由を述べて下さい

2008年に行われた、北京オリンピック選考レースの日本選手権です。今までの中で一番プレッシャーがあっただけ優勝することができてオリンピック出場を決めました。

—— オリンピックについて、参加する意義と出場した感想をお話し下さい

オリンピックは自分が思っ

いた以上に特別な大会でした。自分の実力不足で満足のいく結果は出せませんでした。オリンピックに出場できたことはとても大きな財産になりました。

—— 昨年12月に行われた福岡国際マラソン選手権大会で活躍されましたがこれからはマラソン中心の競技生活をしていくのですか？

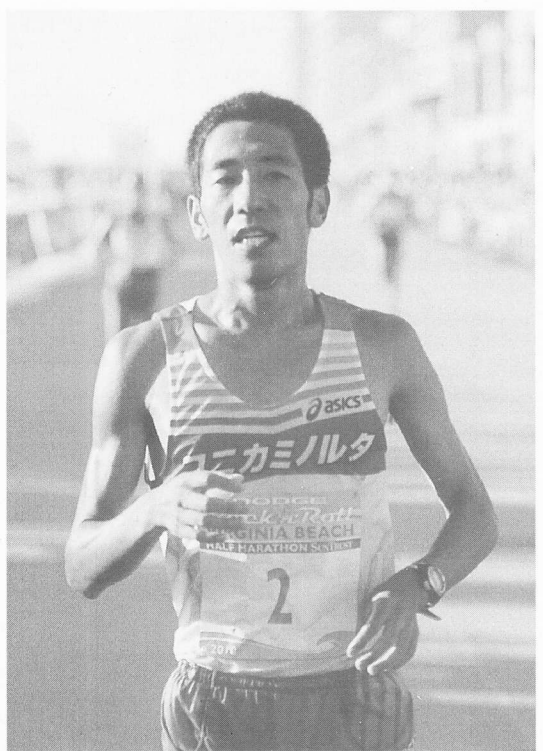
2012年のロンドンオリンピックはマラソンで出場したいと思っています。だからこれからはマラソン中心の練習になると思いますが、今のマラソンはスピードがなければ通用しないので、トラックレースでスピードを磨きたいと思っています。

—— 実業団の陸上部の様子、仕事と陸上部の練習の時間はどうなっているか教えてください

コニカミノルタの陸上部は選手14人、スタッフ3人です。練習は月・火・木・金は8時半から2時まで仕事で2時半から6時まで練習、水曜日は一日中練習のため出社しません。選手は全員職場が違うので一人一人違う仕事をしています。

—— 最大のライバルは誰ですか？

最大のライバルは誰です



弟の松宮祐行、一番のライバルであり一番の理解者、今の自分があるのも弟のお蔭だと思っています。

—— 高校時代の思い出について教えてください

12月に行われる全国高校駅伝を目標に取り組んでいました。

高校3年生の時目標を達成し、全国高校駅伝に出場を決めたときには部員みんなと喜びを分かち合いました。

—— もし、もう一度高校に戻れたら何をしたいですか

練習が厳しくあまりよい思い出がないので戻りたいとは思いません（苦笑）。

—— 花輪高校陸上部の後輩にアドバイスをお願いします

結果はすぐに出ません。日々の積み重ねが大事なので、毎日少しでもいいので努力することが近道だと思います。

—— 花輪高校の一般生徒に一言お願いします

目標を持ち、その目標に向かって努力することが大事だと思います。目標を持っている人が人生楽しいと思うので、みなさん夢に向かって頑張ってください。

